

決 算 報 告 書

第 15 期

自 2013年 4月 1日
至 2014年 3月31日

抗菌美装株式会社

長野県飯田市中村1758-2

貸借対照表

2014年 3月31日現在

(単位：円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		買掛金	3,257,834
現金	842,109	未払金(ネットポイント)	2,922,136
小口現金	73,206	預り金(源泉所得税)	193,712
普通預金 ジャパンネット銀行	908,910	預り敷金(ハブサ吉沢)	2,268,000
普通預金 みなみ信州農協	213,466	未払法人税等	71,000
普通預金 飯田信金 伊賀良	354,730	未払消費税	1,034,100
普通預金 八十二銀行	416,606	流動負債計	9,746,782
普通預金 長野県信用組合	1,294,594	【固定負債】	
普通預金 アルプス中央信用金庫	243,833	長期借入金(鈴木社長)	464,581
普通預金 長野銀行	308,456	長期借入金(八十二銀行)	2,300,000
普通預金 郵便局	35,744	長期借入金(長野県信用組合)	19,647,000
定期積金 八十二銀行	1,130,803	長期借入金(日本政策金融公庫)	10,780,000
定期積金 長野県信用組合	580,000	固定負債計	33,191,581
現金・預金計	6,402,457	負債の部合計	42,938,363
(売上債権)		資 本 の 部	
売掛金	10,620,073	【資本金】	
売上債権計	10,620,073	資本金	10,000,000
(棚卸資産)		資本金計	10,000,000
商品	1,801,635	【剰余金(欠損金)】	
棚卸資産計	1,801,635	当期未処分利益	△7,445,798
(その他流動資産)		(うち当期利益)	1,354,005
前払費用	202,400	剰余金計	△7,445,798
仮払金	226,506	資本の部合計	2,554,202
その他流動資産計	428,906		
流動資産合計	19,253,071		
【固定資産】			
(有形固定資産)			
建物	11,038,078		
建物付属設備	721,212		
機械及び装置	1,329,237		
車両運搬具	355,918		
工具器具備品	1,499,582		
土地	10,033,178		
営業権	358,598		
有形固定資産計	25,335,803		
(投資等)			
敷金(ハブサ土地)	699,600		
保険積立金	204,091		
投資等計	903,691		
固定資産合計	26,239,494		
資産の部合計	45,492,565	負債・資本の部合計	45,492,565

損 益 計 算 書

自 2013年 4月 1日
至 2014年 3月31日

(単位：円)

《経常損益の部》

[営業損益の部]

【売上高】

抗菌・美装売上	53,288,404
温泉の素売上	581,003
南信州.com売上	2,264,198
ネット売上	7,878,646
鍍金売上	85,986
不動産売上	16,445,715
保険売上	403,597
売上値引高	20

売上高 計

80,947,569

【売上原価】

期首商品棚卸高	2,187,326
期首商品・製品棚卸高	2,187,326
抗菌・美装仕入	21,106,768
南信州.com仕入	479,730
ネット仕入	3,271,209
鍍金仕入	88,360
当期商品仕入高	24,946,067
合 計	27,133,393
期末商品棚卸高	△1,801,635
期末商品・製品棚卸高	△1,801,635

売上原価 計

25,331,758

売上総利益

55,615,811

【販売費一般管理費】

販売費・一般管理費計	52,028,029
------------	------------

営業利益

3,587,782

[営業外損益の部]

【営業外収益】

受取 利息	2,093
受取配当金	30
雑 収 入	308,409
営業外収益 計	310,532

【営業外費用】

支払 利息	521,005
営業外費用 計	521,005

経常利益

3,377,309

《特別損益の部》

【特別利益】

固定資産売却益	88,354
特別利益 計	88,354

【特別損失】

固定資産売却損	191,610
---------	---------

損 益 計 算 書

自 2013年 4月 1日
至 2014年 3月31日

(単位：円)

特別損失 研修費	1,849,048	
特別損失 計	2,040,658	
税引前当期利益(損失)		1,425,005
法人税及び住民税		71,000
当期 利益 (損失)		1,354,005
前期繰越利益(損失)		△8,799,803
当期未処分利益		△7,445,798

1株当たりの利益(損失) 0.00

販売費及び一般管理費内訳書

自 2013年 4月 1日

至 2014年 3月31日

(単位：円)

給料 手当	17,801,854
役員 報酬	3,000,000
雑 給	600,000
法定福利費	2,350,175
福利厚生費	992,106
通 信 費	1,005,404
荷造 運賃	1,291,032
水道光熱費	1,226,119
旅費交通費	409,099
広告宣伝費	2,198,153
接待交際費	53,081
事務用消耗品費	196,660
備品消耗品費	5,106,138
新聞図書費	105,641
修 繕 費	1,767,625
地代 家賃	4,113,589
車両燃料費	1,336,012
保 險 料	1,582,902
租税 公課	906,976
諸 会 費	194,365
リース 料	205,186
支払手数料	899,099
減価償却費	4,311,846
管理諸費	4,762
雑 費	370,205
販売費・一般管理費計	<u>52,028,029</u>

損 失 金 処 理 計 算 書

【当期未処理損失金】

【次期繰越損失】

(単位：円)

7,445,798

7,445,798

上記の通り報告いたします。

平成26年5月28日

抗菌美装株式会社

代表取締役 鈴木 詠里子

平成26年5月末日

各従業員
お取引先の皆様へ

平成26年3月期（第15期）決算のご報告

抗菌美装株式会社
代表取締役 鈴木詠里子

平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
別紙の通り、第15期の決算がまとまりましたのでご報告申し上げます。

<はじめに・・・当期の主な動き>

■新社屋への移転決定

現在、当社と温泉の素.com(株)の2社で飯田市中村1758-2にて事業を行っているが、手狭になってきていた。移転もしくは、工場棟などの建設を視野に入れていたが、車で5分ぐらいの場所に競売物件（特別入札）があることを知り、両社協議の上、取得移転することとなった。

建物の取得は競売物件の都合上1社（温泉の素.com）で取得し、ゴミなどの片づけ、清掃・塗装他を当社で行うこととし、ほぼ同額の出費で両社移転することとなった。移転先は、旧）アイスクリーム工場である。

平成26年6月24日、25日に移転予定

■温泉の素のネット販売事業の移管を受ける

抗菌美装(株)から温泉の素.com(株)を分社した際に、ネット販売事業も当然のように移管した。（平成23年11月時）しかし、ネット販売の性質上、迅速さと在庫管理などが発生し、通常の温泉施設向けの製造販売と流れが異なっていて、人員1人分がネット販売に必要なになっていた。温泉の素.com(株)としては、200万円程度の売上なので、非効率であった。抗菌美装(株)のネット部門としては、「同じ人員で、同じ流れで、商品が違っただけ」ということで商品アイテムが増えるということであるので、両社協議の上、温泉の素ネット販売事業の移管を受けた。

WEBサイトの管理、在庫管理、BtoC販売（出荷、伝票、入金管理）を行う。

■ 損益計算書

【抗菌売上】売上 4266 万円 (−1429 万円=−25.0%)

内訳：メンテナンス契約 2301 万 (−220)、単発清掃 205 万円 (+37)、工事衛生 870 万円 (+470)、塩素等販売 888 万円 (−66)、塩素等ネット販売 0 万円 (−1650)

ネットの塩素剤販売部門を作ったので、会計を分けた。

メンテナンス契約先数は横ばいである。

工事衛生の+470の内訳は、食品工場、阿智村源泉管洗浄、恵那市源泉管の洗浄等で影響している。来年あるわけではないので、水ものである。

従前からのとおり、毒物劇物の製造販売許可を得ているが、全く製造販売していない。

【温泉の素ネット売上】売上 0 万円 (±0 万円)

温泉の素.com より事業移管を受けたネット販売 BtoC の売上である。

ネット部門として移管を受けたので、ネット部門に計上してある。

販売委託手数料として売上全部を頂く形であるので、仕入は発生していない。

【地域貢献事業売上】売上 168 万円 (−106 万円=−38%)

地域情報サイト「南信州.com」として7期目である。

正直に申し上げ厳しい。大きな成長の見込みはない。継続あるのみ。

ネット販売部門を作ったので、会計を分けた。

【ネット販売部門】 2007 万円 (+2007 万円)

塩素.jp 1715 万円 (+1715 万円)

特産物市場 89 万円 (+89 万円)

温泉の素.com 203 万円 (+203 万円)

小分け.com 0 万円 (±0 万円)

【自動車钣金売上】8 万円 (−47 万円=−84.%)

一昨年度、事業移管したので売り上げはなくなった。今期で部門としては無くす。

【損害保険売上】売上 40 万円 (+10 万円=+34.8%)

仕入れはなく、温泉の素電話営業スタッフの兼務であるので人件費は部門に発生しない。売上げ=純利益とみなしてよい。金額としては微増である。

【不動産売上】売上 1644 万円 (+96 万円=+6.2%)

【総論】

・総じて横ばいである。

■貸借対照表

<資産の部>

【流動資産】1925万円(+140万円)

流動資産計は、140万円の増加である。現金640万円(+96万円)、売掛金1062万円(+44万円)、商品180万円(-38万円)、前払費用20万円(+20万円)、短期貸付金0万円(-5万円)。

売掛金の中には、自動車钣金業を行っていた際に掛売りしたが未入金となっている額が、昨年度2社合計で79.5万円あったが、1社を終わらせ、残り1社36.8万円となった。自動車修理業を営んでいるので、今後も車検を1社に行っていたら相殺回収するつもりである。

前払金20万円は、2月に日野自動車へ2tトラック460万円を新車発注した分の登録費用等の前払いである。

【固定資産】2623万円(-457万円)

建物1103万円(-75万円)、構築物0万円(-33万円)、機械装置132万円(-66万円)、車両運搬具35万円(-55万円)、工具器具備品149万円(-87万円)、土地1003万円(±0)建物付属設備72万円(-108万円)、営業権35万円(-71万円)、敷金69万円(±0)、保険積立金20万円(±0万円)

しっかりと目一杯償却した。

<負債の部>

【流動負債】974万円(+270万円)

買掛金325万円(-7万円)、未払金0万円(-0万円)、ネットポイント未払金292万円(+226万円)、所得税預り金19万円(+3万円)、未払法人税7万円(±0)未払消費税103万円(+82万円)、預り敷金226万円(±0)。

流動負債の増加分の83%(226万円分)は、ネットポイントの増加である。例年の決算では、年間に使われるポイント分を負債としてみなして計上していたが、今期はポイント付加分すべてを目一杯計上した。過去に商品をネットで買っていたら、まだ残っているポイントである。すぐに全部使われるということはないし、使われても時期以降の売上の中からの相殺なので、実質上は、負債であって負債でないと考えている。年間70万円ぐらいがポイントとして使われるので、残りの150万円相当は、実質当期の利益を圧縮したものとも考えられる。

【固定負債】3319万円(-722万円)

内訳：長期借入金3319万円(-722万円)

八十二銀行230+長野県信用組合1964+日本政策金融公庫1078+社長借入46。

順調に返済した。

<純資産の部>

【資本金】1000万円

増減なし。

【剰余金】-744万円(+135万円)

累積赤字744万円。(昨年より135万円改善)

【第16期の重点施策】

昨年より消費税の影響を心配してきたが、このレポート作成時（6月初旬）では、当社にとっては、全く影響が出ていない。一方で、原油価格の上昇による化成品の仕入が高くなる恐れが懸念される。

重点施策

① 事務所の移転。

できるだけ、自社の従業員で片づけ・清掃・塗装工事を行い、見てくれは職人さんほどきれいに仕上がらないが、それなりに安く移転したい。移転の工事に全力を注ぐ。

② 売上の増加

これは、ネットの強化でしかない。塩素を中心としてネット販売を行う。

26年4月初旬に、今まで規制されていた部分がクリアになったので下記に記す。実は今まで、ある大手の塩素剤メーカーからネット販売に対して、特に価格に対して値下げしないように遠まわしに依頼がきていた。従来からの慣例で、大手塩素剤メーカーは、地域販売店制度を取っている。そのため、他県には売らないとか価格の維持がしやすかったのであろう。しかしネットでの流通が一般的になり、混在していた。

当社以外のアマゾンなどのサイト内では当社より安い価格が付けられていた。4月の消費税改定時に4月2日の価格ということで、他社の情報をくまなく調査し、商社経由でメーカーに対応の協議をお願いしたところ、価格については任せるとの回答を頂いた。これにより、他社より安く価格をつけ、ネット掲載することができるようになった。今現在、ネット上での塩素剤販売の地位は、優位に立てているので、価格を重視しながら、情報も提供し他社のエリアにも食い込んでいきたい。一方で安易な値下げは、ネットの塩素剤市場で優位に立っている自社のマーケットを崩しかねないので注視しながら行う。情報収集が必要である

南信州.comの月額料金を840円から1080円に値上げする。

10店舗ほど脱会したが、採算ベースで行けると思う。

③ コスト維持

従来通りコスト削減はしてきている。しかし、事務所が大きくなることで、電気代はじめ多くのコストが増加する。しっかりと抑えていきたい。

【今後に向けて】

従業員の1名（前社長：鈴木健太郎）を大阪市内の専門学校（2年間）に入学させたが順調に2年生に進級した。また、私自身（社長：鈴木詠里子）も同時に、温泉の素.comの従業員として同じ専門学校に通い2年生に進級した。3月には卒業見込みであるが、毒物劇物の取扱責任者が2名となることで、毒物劇物の販売事業に弾みをつけていきたい。そのため準備をしていく。

昨年度より、卒業まで、役員報酬や給料は減額している。

【財務面】

長年の地元旅館経営の不良債権先1社だが、41万円ある。毎月2万円売り上げているので、集金しているもののなかなか減らない。・・・かといって、ほとんどメンテナンス契約なので、契約解除しても集金できないし、従業員固定費は変わらないので、とりあえず売り上げている感じである。もちろんメンテナンスはしている。

事務所移転の為、また2tトラック取得のため、借入れを行う。毎月の支払い総額は増やしたくないので、今までの借入れも含めリスケジュールを行い、支払期間を延ばすことを各銀行に依頼した。

【総括】

新たな成長分野が見えていない。模索中である。しかし、あと1年間は専門学校に通い大きな投資（学費、家賃、交通費など）をしているので、会社としてさらに投資したり、事業規模を拡大することはしない。消費税の増税を前に、事業基盤の整備に邁進するのみである。